

Odds Park Club

vol.60

ばんえい競馬特集

ジョッキーインタビュー
長澤幸太 騎手

2021.1~3

Graded Dirt Races

- 1/20 TCK女王盃 JpnⅢ(大井)
- 1/27 川崎記念 JpnI(川崎)
- 2/11 佐賀記念 JpnⅢ(佐賀)
- 3/ 4 エンプレス杯 JpnII(川崎)
- 3/11 名古屋大賞典 JpnⅢ(名古屋)
- 3/16 黒船賞 JpnⅢ(高知)
- 3/17 ダイオライト記念 JpnII(船橋)



私的名馬録

ばんえいの白い逃亡者 ダイヤキャップ

1996年1月28日。私は初めてのばんえい競馬観戦のため、帯広競馬場を訪れていました。お目当ては農林水産大臣賞典（現在のばんえい記念）。このレースが引退レース、勝てば栄光の“1億円馬”となるマルゼンバジと前年の覇者フクイチ。一騎打ちムードが漂う中、3番人気に推されていたのが今回紹介するダイヤキャップです。

明け7歳（現6歳）での大臣賞初挑戦、ばんえい重量1000kgに対して馬体重は996kg。自分より重い荷物を引いた芦毛の若武者は、第2障害を先頭でクリア、ゴール寸前まで2強に食い下がる走りを見せたのでした。私自身、このレースをきっかけにばんえい競馬にハマっていくことになりましたが、小さな馬体で懸命に逃げたダイヤキャップのひたむきな走りが、ひととき印象に残っていたのです。

翌シーズン、ダイヤキャップの主戦騎手は“ミスターばんえい”金山明彦騎手へとスイッチ。岩見沢記念、旭王冠賞と重賞連勝、小兵の若武者は古馬戦線を中心に立つまでに成長を遂げました。

1997年1月26日、ダイヤキャップは2

度目の農林水産大臣賞典に挑戦します。この日の馬体重は991kg。1番人気はフクイチで、ダイヤキャップは2番人気、芦毛馬2頭によるマッチレースの様相。ダイヤキャップは第2障害を先頭で降り、昨年同様逃げ込みを図ります。そこに2番手で障害を降りたフクイチが追い込んでくる。二度三度と止まりながらゴールに向かう両馬、次第に差は縮まります。最後はフクイチが突き放してのゴールイン。ダイヤキャップは14秒7差の2着でレースを終えました。

翌シーズンは開幕から不振が続いたものの12月に帯広に転戦してきて復調、帯広記念でシーズン初の重賞勝利。上り調子で3度目の大臣賞に臨みます。この日の馬体重は1010kgと1トン超え。立ちはだかるのはこの年も“高重量戦の鬼”フクイチ。芦毛2頭によるライバル対決です。レースで先手を取ったのはダイヤキャップ。真っ先に第2障害を仕掛け、真っ先にクリア、逃げ込みを図ります。そして2番手で障害を降り、猛然と追い込んでくるフクイチ。



ダイヤキャップと金山明彦騎手

井馬アナウンサーの「今年こそ、今年こそその期待を一心に、まずキャップが行きました」「今年も、今年も譲れないフクイチ」という実況どおり、前年のVTRを観るような展開。そして結果も同じ、フクイチが先頭でゴール。ダイヤキャップはまたしても2着、王座にあと一步届かず。

ダイヤキャップびいきの私は「4度目の正直」を期待したが、その願いは叶うことはありませんでした。

1998年6月26日、死亡。

ばん馬は品種改良が進み、体格はどんどん大きくなっています。ばんえい記念に馬体重1000kg未満で出走したのは2012年のアモンドヤワラ（997kg・6着）が最後、今後も現れる可能性は低いと思われます。自分よりも重い荷物を曳き、最強馬と互角に渡り合ったダイヤキャップ。記録以上に我々ファンの記憶に残る名馬です。

高野直樹（たかの なおき）

1970年北海道生まれ。Webサイト『私設ばんえい競馬資料館』を20年以上に渡って運営。ばん馬（農用馬）の血統研究を始め、ばんえい競馬の歴史や記録に関する各種情報をインターネットを中心に発信している。

ピックアップ!! Road to 黒船賞

高知競馬で唯一のダートグレード競走である黒船賞。1998年の第1回から2020年の第22回まで（08年は休止、11年は中止）でJRA勢が19勝、地方馬は2勝と、前者が圧倒的な力を示している。

地元高知勢は、記念すべき第1回の黒船賞でリバーセキトバが9番人気という低評価を覆して勝利しているが、それ以降は99年メイショウタイカン、02年ライジングハント、09年フサイチバルドルと3度の3着が最高。高知競馬では、10年から勝ち馬に黒船賞への優先出走権が付与される“黒船賞選考競走”を実施。現在は大高坂

賞、黒潮スプリンターズカップ、だるま夕日賞が選考競走となっており、黒船賞への盛り上げに役買っている。

大高坂賞は、第1回、第2回は福山競馬場で、福山・高知交流として行われたが、2013年の福山競馬場の廃止に伴い、第3回からは黒船賞と同じ高知1400mで実施されている。15～17年にはサクラシャイニーが3連覇を達成しているが、黒船賞では15年の9着が最高だった。一方、19年、20年と連覇したサクラレグナムは、黒船賞でもそれぞれ5着、4着と2年連続で地元馬最先着を果たしている。

黒潮スプリンターズカップは、09年から現在と同じ1300mが舞台となった。10年には地方全国交流となり、他地区所属馬も優先出走権を得ることができる。しかし、ここまでの勝ち馬はすべて高知所属馬となっている。

13年以前はだるま夕日特別として行われていただるま夕日賞は、14年に重賞に



大高坂賞連覇を果たしたサクラレグナム

昇格した。第1回から1600mが舞台で、距離が200m短い黒船賞には直結しにくい傾向にある。優勝馬のべ7頭のうち、同年の黒船賞に出走したのは4頭で、14年の勝ち馬トーホウカイザーは地元馬最先着の6着も、ほか3頭はいずれも9着に敗れている。

なお、赤岡修次騎手は、黒潮スプリンターズカップでは12～14年の3連覇を含め6勝、だるま夕日賞は16年～18年に3連覇、そして大高坂賞では昨年まで6連覇を達成している。

黒船賞選考競走である3つの重賞、そして本番の黒船賞はぜひオッズパークでお楽しみください。

実施日	レース名	距離(m)	2020年の優勝馬
1月17日	大高坂賞	1,400	サクラレグナム(高知)
1月31日	黒潮スプリンターズカップ	1,300	スペルマロン(高知)
2月14日	だるま夕日賞	1,600	ウォーターマーズ(高知)
3月16日	黒船賞 JpnⅢ	1,400	ラブタス(JRA)

ばんえい競馬



場番号 帯広03#

●トラックマンと天気予報

開催日の11月9日、朝に雪が降った。積るほどではないが本走路の砂を濡らすには十分な雪である。天気予報は曇りのマークだった。降る雪を見て頭をよぎったのは「まずい、あの馬をノーマークにした」

濡れた砂には無印馬を本命に変えるほどの力がある。それくらい、馬場状態に左右されるのがばんえい競馬。『ホースニュース社』時代に本紙を担当していた頃から、毎日見続けているのが週間天気予報である。特に冬季開催では雪が降っている最中は時計も速いが、前日に降った雪などは朝のロータリーハロー掛けで拡散されるため、砂自体が緩くなり、馬そりが沈



10月18日 ナナカマダ賞 アバシリサクラ

む重い馬場に変わることが多い。十勝地方は気温がマイナス20度になることもあるが、雪が降らずに気温が下がった時などは砂が凍れて、馬そりの抵抗も小さくなり時計は速くなる傾向がある。

ばんえい競馬は馬券的に難しいとよく聞く。私も長い間この業界で仕事をさせてもらっているが、正直、染みて良くわかる。ばんえい初のトラックマンになり仕事にも慣れた頃の話だが、穴馬を大きく推して、「レース内容は良かったし見せ場も十分」と自己満足していた。レース終了後に、自分の顔写真が載っている囲み記事が、赤鉛筆で塗られ捨てられているのを見た時などはしばらく落ち込んだものだ。競馬予想は結果1円でもプラス



11月1日 北見記念 メジロゴリーキ

にならなければとその時に教えられた。

当たりか外れか、わずかに2分ほどで結果が出てしまうのが競馬の世界。長くやっている「今日は晴れの予報だったんだが、雨が急に降ったから」とトラックマンの自己弁護にも使える便利なアイテムが天気予報。NHKさん長年お世話になっています。

文●小寺雄司

●ばんえい競馬重賞勝ち馬一覧 2020年9月～2020年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/20	岩見沢記念(3歳以上)	200	コウシュハウンカイ(牡10)	藤本 匠	ばんえい・松井浩文
9/27	銀河賞(4歳)	200	メモロボブサップ(牡4)	阿部武臣	ばんえい・坂本東一
10/18	ナナカマダ賞(2歳)	200	アバシリサクラ(牝2)	島津 新	ばんえい・金田 勇
11/1	北見記念(3歳以上)	200	メジロゴリーキ(牡6)	西 謙一	ばんえい・松井浩文
11/8	ばんえい菊花賞(3歳)	200	キョウエイリユウ(牡3)	松田道明	ばんえい・村上慎一
11/15	クインカップ(4歳牝)	200	ジェイカトレア(牝4)	藤野俊一	ばんえい・平田義弘
11/29	ドリームエイジカップ(4歳以上)	200	アオノブラック(牡4)	藤野俊一	ばんえい・金田 勇

ホッカイドウ競馬

場番号 門別 06#

●冬季も活躍する門別デビュー馬

クインズサターンが、豪快な末脚で2020年度グランシャリオナイター開催を締め括った。シーズン終了と前後して相当数の2歳馬、3歳以上馬が冬場の出稼ぎも含めて全国各地に移籍し、新たな一年での飛躍を期している。

全国の地方競馬で、5月末から6月中旬にかけて行われているダービーシリーズ。実は、昨年の8競走のうち地元の北海優駿(ダービー)を含め4つまでを門別デビュー馬が制したのだが、ご存知だろうか。前年(19年)の北海道2歳優駿JpnⅢで2着に踏ん張ったアベニンドリームが北海優駿を制し、岩手では



11月3日 JBC2歳優駿JpnⅢ ラッキーdream

フレッチャビアンカが東北優駿(岩手ダービー)を圧勝。東海ダービーは門別でJRA認定フレッシュチャレンジ競走を快勝のニュータウンガールが単勝1.3倍の圧倒的人気に応え、高知優駿では当地で大活躍した父グランシュヴァリエの数少ない産駒であるリワードアヴァロンが“血統のロマン”を強く感じさせる勝利を決めてみせた。

今年の明け3歳馬は全体的に、19年デビュー組よりさらにハイレベルと評して良さそうだ。というのも、新設の第1回

JBC2歳優駿JpnⅢをサッポロクラシックカップから連勝でラッキーdreamが制し、2着トランセンデンス、4着、5着と門別デビュー馬4頭が掲示板に載った結果が雄弁に物語る。

1月1日の名古屋・新春ベガサスカップを皮切りに、各地で行われる3歳重賞で門別デビュー馬たちの大活躍が見られるだろうことは、まず間違いない。新たなこの一年、引き続き“門別デビュー馬／出走経歴馬”たちをこまめにチェックしていただくことが的中への近道となるのかもしれない。

文●HDK

●ホッカイドウ競馬重賞勝ち馬一覧 2020年9月～2020年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/3	サッポロクラシックカップ(2歳)	1700	ラッキーdream(牡2)	石川 倭	北海道・林 和弘
9/10	旭岳賞(3歳以上)	2000	ルールンヴァール(セン8)	岩橋勇二	北海道・田中淳司
9/17	フローラルカップ(2歳牝)	1600	ブルーカルセドニー(牝2)	五十嵐冬樹	北海道・川島洋人
9/22	ウボポイオタムスプリント(3歳以上)	1200	メイショウアイアン(牡10)	落合玄太	北海道・田中淳司
9/24	イノセントカップ(2歳)	1200	リーチ(牡2)	服部茂史	北海道・林 和弘
10/1	サンライズカップ(2歳)	1800	シビッドドライブ(牡2)	落合玄太	北海道・田中淳司
10/7	瑞穂賞(3歳以上)	1800	スーパーステーション(牡6)	阿部 龍	北海道・角川秀樹
10/15	エーデルワイス賞JpnⅢ(2歳牝)	1200	ソロユニット(牝2)	阿部 龍	北海道・角川秀樹
11/3	JBC2歳優駿JpnⅢ(2歳)	1800	ラッキーdream(牡2)	石川 倭	北海道・林 和弘
11/3	プロッサムカップ(2歳牝)	1700	モリノオーシャン(牝2)	桑村真明	北海道・角川秀樹
11/5	道営スプリント(3歳以上)	1200	ジャスパークシャイン(牡3)	阿部 龍	北海道・佐久間雅貴
11/5	道営記念(3歳以上)	2000	クインズサターン(牡7)	落合玄太	北海道・安田武広

岩手競馬



場番号 盛岡11・水沢12#

写真●岩手県競馬組合

●地元が意地見せた2歳戦線

「今年の2歳はちょっと強いんじゃないか？」とは、厩舎や記者の間で囁かれていた話だが、この秋はそれが実際に結果となって現れ始めた。地方全国交流重賞のジュニアグランプリではマツリダスティールが、北海道との交流重賞の知床賞はゴールデンヒーラーがそれぞれ完勝と言える内容で遠征馬を下した。いずれのレースもここ3年北海道からの遠征馬に完敗、中には4着まで独占されるというようなレースもあっただけに、今年の結果は少し風向きが変わってきたのだと解釈したい。マツリダスティールは、こ



11月23日 絆カップ ヒガシウィルウィン

のあとJRA東京の京王杯2歳ステークスGIIに挑戦して10着に終わったが、1秒0差なら決して大差とは言えないし、菅原勲調教師も元々距離不足と割り切った出走だった。その後は手頃な条件が見つからなかったが、1月の中山以降で再度のJRA遠征が考えられている。

●最終決戦・トウケイニセイ記念

二強対決となった絆カップはヒガシウィルウィンがランガディアに完勝。両馬

は12月31日の桐花賞で再戦となる可能性が高いが、ここにはエンパイアベガスやダービーグランプリを勝ったフレッチャビアンカ、さらには一時南関東へ移籍していたヤマショウブラックも戦線復帰の見込みで、超豪華メンバーとなる。このうち何頭かは余勢を駆って1月11日のトウケイニセイ記念へ向かうことも考えられるだけに、シーズン終盤の水沢開催は近年以上の盛り上がりになりそうだ。

文●深田桂一(ケイシュウNEWS)

●岩手競馬重賞勝ち馬一覧 2020年9月～2020年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/5	ビギナーズカップ(2歳)	盛岡 1400	リュウノシンゲン(牡2)	坂口裕一	岩手・菅原 勲
9/6	不來方賞(3歳)	盛岡 2000	フレッチャビアンカ(牡3)	高松 亮	岩手・千葉幸喜
9/13	青藍賞(3歳以上)	盛岡 1600	ヒガシウィルウィン(牡6)	山本聡哉	岩手・菅原 勲
9/21	ジュニアグランプリ(2歳)	盛岡 1600	マツリダスティール(牡2)	阿部英俊	岩手・菅原 勲
9/27	岩手県知事杯OROカップ(3歳以上)	盛岡 1700	ブラックバゴ(牡8)	関本 淳	大井・佐野謙二
10/4	ダービーグランプリ(3歳)	盛岡 2000	フレッチャビアンカ(牡3)	高松 亮	岩手・千葉幸喜
10/12	マイルチャンピオンシップ南部杯JpnI(3歳以上)	盛岡 1600	アルトス(牡5)	田邊裕信	JRA・栗田 徹
10/18	若駒賞(2歳)	盛岡 1600	リュウノシンゲン(牡2)	坂口裕一	岩手・菅原 勲
10/24	OROターフスプリント(3歳以上)	盛岡 1000	ツーエムマイスター(牡8)	岩本 怜	岩手・飯田弘道
10/25	OROオータムティアラ(3歳牝)	盛岡 2000	セシール(牝3)	阿部英俊	岩手・三野宮通
11/1	知床賞(2歳)	盛岡 1400	ゴールデンヒーラー(牝2)	山本聡哉	岩手・佐藤祐司
11/8	イーハトーブマイル(3歳)	盛岡 1600	セシール(牝3)	岩本 怜	岩手・三野宮通
11/15	南部駒賞(2歳)	盛岡 1600	ギガキング(牡2)	服部茂史	北海道・田中淳司
11/23	絆カップ(3歳以上)	盛岡 1600	ヒガシウィルウィン(牡6)	山本聡哉	岩手・菅原 勲
11/30	プリンセスカップ(2歳牝)	水沢 1400	ゴールデンヒーラー(牝2)	山本聡哉	岩手・佐藤祐司

金沢競馬

場番号 41#

写真●石川県競馬事業局

●飛躍期すサブノタミヘ

今年の金沢2歳勢でもっとも注目を集めたのはサブノタミヘだ。牝馬ながらデビュー戦から併走した牡馬に競り勝つ勝負強さを見せて、金沢プリンセスカップまで5連勝して重賞初制覇。しかし同じようなメンバーと走っての連勝だっただけに陣営はまだサブノタミヘの強さに半信半疑だった。

だが兼六園ジュニアカップを勝ってから評価は一変する。最内枠からの発走となりスタートから馬群に包まれる厳しい展開となりながらも、何とか先団を交わして直線半ばで先頭へ。そこに後方で脚をためていたキラメキビジョンが襲いか



10月11日 兼六園ジュニアカップ サブノタミヘ

かってきたが、最後まで並ばせず抜かせなかった。畑中信司騎手は「前半のペースが速くて判断が難しかったが、思っていた以上に走ってくれた」と、ポテンシャルの高さに驚いていた。

距離が延びても対応ができたことから、陣営は金沢2歳重賞のラストを飾る1700メートルの金沢ヤングチャンピオンに照準を絞って鍛え直した。結果的には、門別でオープン出走経験があった同じ厩舎のアイバンホーに半馬身差交わされての2着だったが、「牡馬相手に一騎打ちはまだ厳しい。もし多頭数で相手が外を回る展開だったらもっと際どい勝負



9月6日 サラブレッド大賞典 カガノホマレ

になっていたかも」と畑中騎手は悔しかった。残念ながらデビューからの連勝は6でストップしてしまっただが、ゴール前まで強豪牡馬に食い下がった姿は、さらなる飛躍が期待できる内容だった。

文●中部地方競馬記者クラブ

●金沢競馬重賞勝ち馬一覧 2020年9月～2020年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/1	イヌワシ賞(3歳以上)	2000	リンノレジェンド(牡4)	吉原寛人	北海道・林 和弘
9/6	サラブレッド大賞典(3歳)	2000	カガノホマレ(牡3)	吉原寛人	金沢・菅原欣也
9/27	金沢プリンセスカップ(2歳牝)	1400	サブノタミヘ(牝2)	畑中信司	金沢・金田一昌
9/29	白山大賞典JpnIII(3歳以上)	2100	マスターフェンサー(牡4)	川田将雅	JRA・角田晃一
10/11	兼六園ジュニアカップ(2歳)	1500	サブノタミヘ(牝2)	畑中信司	金沢・金田一昌
10/25	お松の方賞(3歳以上牝)	1900	ハクサンアマゾネス(牝3)	吉原寛人	金沢・加藤和義
11/8	北國王冠(3歳以上)	2600	スギノグローアップ(牡7)	繁田健一	大井・福永 敏
11/10	金沢シンデレラカップ(2歳牝)	1500	マナバレンシア(牝2)	柴田勇真	金沢・金田一昌
11/22	金沢ヤングチャンピオン(2歳)	1700	アイバンホー(牡2)	中島龍也	金沢・金田一昌

笠松競馬



場番号 42#

●ダービー狙えるシャノンアーサー

2020年の東海3歳シーンをリードしたのはホッカイドウ競馬で1勝を挙げ、その後笠松に転入したニュータウンガールだった。同馬が歩んだ道程を、同じように歩む2歳の好素材がいる。シャノンアーサー（花本正三厩舎）だ。同じく北海道デビューで1勝を飾ったあとに、笠松へと移籍。そして10月の準重賞・ジュニアクラウンを制覇。さらに重賞初挑戦の11月ラブミーチャン記念では遠征馬に屈したが、地元勢最先着の2着をキープしたのもまったく同じだ。

そのラブミーチャン記念は、地元北海道で2勝し、9月の園田プリンセスカッ



10月9日 オータムカップ シャドウチェイサー

プを快速逃亡劇で仕留めたラジアントエンティ（北海道）に完敗を喫した。2番手の絶好位置につけたラジアントエンティを外の3、4番手でマーク。2周目3コーナー手前で同馬が先頭に立った時も、半馬身くらいの差でしっかり追いつがった。しかし直線、ゴーサインが出されたラジアントエンティが二段加速すると、一気に差が開き、ゴールでは5馬身差つけられた。

ただ、「最終3コーナーから向こうは手ごたえ、脚いろに余裕があったし、格が違った感じです。でも操縦性は高いし、距離が大丈夫なのも改めて確認できました。東海の重賞ならというメドも立ったと思います」と、移籍後コンビを組み続ける筒井勇騎手は、敗戦にも収穫を見出し前向きにとらえた。さらには



11月5日 ラブミーチャン記念 ラジアントエンティ

「まだビシッとは仕上げていません。これからどう成長していけるかがポイントでしょう」と続けて期待をにじませた。

笠松若駒戦線の“出世頭”シャノンアーサー。このままニュータウンガール同様、東海ダービー馬へと上り詰めるか。じっくり見つめたいものである。

文●中部地方競馬記者クラブ

●笠松競馬重賞勝ち馬一覧 2020年9月～2020年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/10	西日本ダービー(3歳)	1900	エアポケット(牡3)	吉原寛人	佐賀・真島元徳
10/9	オータムカップ(3歳以上)	1900	シャドウチェイサー(セン8)	向山 牧	笠松・川嶋弘吉
11/5	ラブミーチャン記念(2歳牝)	1600	ラジアントエンティ(牝2)	吉村智洋	北海道・角川秀樹

名古屋競馬

場番号 43#

●スター街道歩むダイセンハッピー

重賞ラッシュの秋シーズン。ファン、関係者が熱視線を送って見届けたのが、東海の2020年の2歳タイトル開幕戦のゴールドウイング賞だった。18年の勝ち馬エムエスクイーンが名古屋3歳三冠を達成したのははじめ、近年の優勝馬はその後、順調にトップスターへの道歩んで“東海の出世重賞”と言われているからだ。昨年は単勝1番人気の支持を集めたダイセンハッピーが、2番手から早めのロングスパートで、人気を二分したブンブンマルを1馬身振り切り、ファンの人気にしっかり応えた。

デビュー4戦目で初めて控えるレース



10月12日 秋の鞍 ヴァケーション

を強いられましたが、ダイセンハッピーはいつも通り、速くて、強かった。「1枠だったしハナ（先制）が理想だったけど、調教で砂をかぶせる走りもさせている。控えても大丈夫でした」。コンビを組んだ大畑雅章騎手はまったく慌てず騒がず。同じく認定競走を勝っていたライバル・ブンブンマルが、向正面中ほどから上昇を開始すると、早めのゴーサインにダイセンハッピーはしっかりと応えて、ロングスパートを敢行。先頭に立ってからは、セーフティリードを保ち、着差以上の力強さで東海の2歳重賞開幕戦を仕留めた。

「（ブンブンマルの）戸部さんに並ばれないように、積極的な競馬をしました。早めに動いた分、最後は脚がいっぱいだ



10月27日 ゴールドウイング賞 ダイセンハッピー

ったけど、距離は延びてもいいタイプ。ほんとに乗りやすい馬。もう少し体力をつけて、ダービーを狙いたい」。大畑騎手は今年の期待馬に改めてレース後、エールを送った。開幕重賞で絶好のスタートを決めたダイセンハッピーが、世代バトルをリードしていきそうだ。

文●中部地方競馬記者クラブ

●名古屋競馬重賞勝ち馬一覧 2020年9月～2020年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/17	秋桜賞(3歳以上牝)	1400	サラブ(牝5)	赤岡修次	大井・藤田輝信
10/1	ベイスプリント(3歳以上)	1400	ウラガーノ(牝6)	筒井勇介	笠松・田口輝彦
10/12	秋の鞍(3歳)	1400	ヴァケーション(牡3)	吉原寛人	川崎・高月賢一
10/27	ゴールドウイング賞(2歳)	1600	ダイセンハッピー(牝2)	大畑雅章	名古屋・今津博之
10/29	ゴールド争覇(3歳以上)	1400	ナリタミニスター(牡5)	吉村智洋	兵庫・坂本和也
11/13	東海菊花賞(3歳以上)	1900	タガノジーニース(牡7)	下原 理	兵庫・新子雅司

兵庫競馬



場番号 園田51・姫路52#

写真●兵庫県競馬組合

●秋の頂上決戦、姫山菊花賞

兵庫競馬では、今年度が第63回の園田金盃、新春賞に次ぐ歴史がある第60回姫山菊花賞が、“秋の王者決定戦”だ。レース名のとおり、もともとは姫路の重賞だったが、日程の関係でサラブレッドに移行した2年目から園田で実施されている。

今年は10月1日に行われ、浦和2頭、笠松1頭の遠征馬を地元8頭が迎え撃つかたち。前走の摂津盃で古馬初タイトルを獲得した4歳ジンギが1番人気。2番人気はセンチュリオン（浦和）で、以下は地元のタガノジーニアス、エイシンニシパ、マイフォルテの人気順。逃げたマイタイザンを追うジンギが4コーナーで



10月1日 姫山菊花賞 エイシンニシパ

先頭に立った時には重賞連勝かと思われたが、がっちりマークしていた同厩舎のエイシンニシパが直線一気に差し切った。ジンギは内から伸びたセンチュリオンを抑えるのが精一杯で2着だった。

そして姫山菊花賞のときは休養していた重賞8勝馬タガノゴールドが、秋初戦となる11月8日、金沢・北國王冠で2着惜敗後に死亡する悲しいニュース。11月10日から19日まで園田開催中は献花台が設置され、ファンは別れを惜しんだ。

●新年第1弾重賞は新春賞

タガノゴールドが不在なら、正月に行わ



10月15日 兵庫若駒賞 ツムタイザン

れる新春賞は姫山菊花賞1、2着エイシンニシパ、ジンギの再戦が濃厚になる。

2020年1月に再開された姫路競馬が、今年は1月13日から3月31日まで35日間に渡って開催される。

文●池永博省 (大阪日刊スポーツ)

●兵庫競馬重賞勝ち馬一覧 2020年9月～2020年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/3	園田オートマトロフィー(3歳)	園田1700	ステラモナーク(牝3)	下原 理	兵庫・新子雅司
9/11	園田チャレンジカップ(3歳以上)	園田1400	ナリタミニスター(牡5)	吉村智洋	兵庫・坂本和也
9/24	園田プリンセスカップ(2歳牝)	園田1400	ラジアントエンティ(牝2)	吉村智洋	北海道・角川秀樹
10/1	姫山菊花賞(3歳以上)	園田1700	エイシンニシパ(牡7)	吉村智洋	兵庫・橋本忠明
10/9	兵庫ゴールドカップ(3歳以上)	園田1230	エイシンエンジョイ(牡5)	吉原寛人	兵庫・橋本忠明
10/15	兵庫若駒賞(2歳)	園田1400	ツムタイザン(牡2)	杉浦健太	兵庫・大山寿文
10/30	兵庫クイーンカップ(3歳以上牝)	園田1700	マコトババヴェロ(牝6)	田中 学	兵庫・木村 健
11/4	橘賞(3歳)	園田1400	サロルン(牡3)	赤岡修次	船橋・岡林光浩

高知競馬

場番号 55#

写真●高知県競馬組合

●残るは1400mのみ！

9月21日の第32回珊瑚冠賞(1900メートル)、11月8日の第16回黒潮マイルチャンピオンシップ(1600メートル)は、いずれもスペルマロン(別府真司厩舎)の圧勝だった。珊瑚冠賞では同厩舎の強豪ダノングッド以下を4馬身置き去りにし、黒潮マイルチャンピオンシップでは断然の1番人気に応え5馬身差で重賞連勝を達成。2019年秋に転入して以来、重賞は4勝目だが、すべて異なる距離というオールラウンダーぶりを発揮した。まだ手にしていないのは1400メートルで行われる重賞のみ。1月の大高坂賞、3月の黒船賞JpnⅢ、御厨人窟賞の



11月8日 黒潮マイルチャンピオンシップ スペルマロン

いずれかを制することができれば、高知競馬初の全距離制覇となる。今現在でもすでに名馬の域に達しているが、さらなる偉業達成に期待が高まる。

●3歳重賞は大接戦！

9月13日に行われた第24回黒潮菊花賞(1900メートル)は序盤からリワードアヴァロン、レインズパワーの両人気馬がハイペースで競り合うかたち。さすがに終盤は脚が上がり、後方で脚を溜めていたフリタイム(工藤真司厩舎)がゴール前の大接戦を制し、初のタイトルを手にした。多田羅誠也騎手、工藤真司調教師も同様に初のタイトル。2020年の飛躍を象徴する一戦となった。アタマ差の惜敗に終わったのがペイシャワイルド(田中譲二厩舎)。展開を考えると一番強い競馬をしたのが同馬だったが、それを



11月15日 土佐秋月賞 ペイシャワイルド

証明したのが11月15日の第9回土佐秋月賞(1600メートル)だった。番手に控えた黒潮菊花賞とは異なり、このときは敢然とハナを主張。レインズパワーにマークされる苦しい展開だったが、何とかハナ差凌ぎ、逃げ切りを完遂した。郷間勇太騎手は11年の福永洋一記念以来、2度目の重賞制覇。高知の夜を華麗に決めてくれた。

文●風間恒一(中島高級競馬號)

●高知競馬重賞勝ち馬一覧 2020年9月～2020年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/13	黒潮菊花賞(3歳)	1900	フリタイム(牡3)	多田羅誠也	高知・工藤真司
9/21	珊瑚冠賞(3歳以上)	1900	スペルマロン(セン6)	倉兼育康	高知・別府真司
11/1	黒潮ジュニアチャンピオンシップ(2歳)	1400	ハルノインパクト(牡2)	西川敏弘	高知・宮路洋一
11/8	黒潮マイルチャンピオンシップ(3歳以上)	1600	スペルマロン(セン6)	倉兼育康	高知・別府真司
11/15	土佐秋月賞(3歳)	1600	ペイシャワイルド(牡3)	郷間勇太	高知・田中譲二

佐賀競馬



場番号 61#

●連覇目指した両馬が明暗

エアポケットは九州ダービー栄城賞2着の後は各地の地方全国交流3歳重賞を転戦。遠征4戦目となる西日本ダービー（笠松）を勝利し、重賞初制覇を達成するとともに、佐賀に同レース初勝利をもたらした。その後は古馬A級へ挑戦するも、大淀川特別3着、九州大賞典5着と勝利は得られなかった。また、夏に大井に移籍していた栄城賞馬トップレベルは11月に佐賀へ復帰したが、初戦の韓国岳賞は6着と、3歳トップ級2頭が古馬の厚い壁に跳ね返された格好だ。

九州大賞典はグレイトパールが2着に5馬身差をつけての記録勝ちで連覇



10月25日 九州大賞典 グレイトパール

を達成。春に重賞2勝を挙げたキングブライドも秋は休養明け2戦目で勝利と、ともに古豪健在をアピール。佐賀記念JpnⅢに向けて順調に歩みを進めている。

佐賀オートスプリントでは連覇を狙い4コーナーで先頭に立ったドラゴンゲートを、直線でフォークローバーが差し切って勝利。ドラゴンゲートは吉野ヶ里記念（3着）から重賞で連敗した。両馬とも短距離路線に専念し、ウインターチャンピオンでの再戦となりそうだ。

●若手騎手たちの活躍

『2020ヤングジョッキーズシリーズ（YJS）』では、地方西日本地区から2位で金山昇馬騎手、3位で出水拓人騎手と佐賀所属の両名がファイナルラウンド進出。また、20年に佐賀で期間限定騎乗経



11月29日 佐賀オートスプリント フォークローバー競のある仲原大生騎手（大井）、池谷匠翔騎手（川崎）も地方東日本地区からファイナルへと進んでいる。なお、10月にデビューした飛田愛斗騎手は、同18日に初勝利。31日には五ヶ瀬川賞でドラゴンゲートに騎乗し、特別戦（準重賞）初勝利を達成と、早くも活躍しており、21年のYJSへの参戦が待たれるところだ。

文●上妻輝行

●佐賀競馬重賞勝ち馬一覧 2020年9月～2020年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/8	霧島賞(3歳以上九州産)	1400	テイエムノサッタ(牝4)	田中 健	JRA・濱田多實雄
10/18	九州ジュニアチャンピオン(2歳)	1400	シュリーデービー(牝2)	鮫島克也	佐賀・真島元徳
10/25	九州大賞典(3歳以上)	2500	グレイトパール(牡7)	鮫島克也	佐賀・川田孝好
11/23	カペラ賞(2歳)	1800	プリマステラ(牝2)	石川慎将	佐賀・渡辺博文
11/29	佐賀オートスプリント(3歳以上)	1400	フォークローバー(牡6)	倉富隆一郎	佐賀・山田 徹

競馬場別
騎手リーディング Top3
(2020年1月1日～11月6日)

ばんえい競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	鈴木恵介	900	157	95	91	17.4	28.0	52,353,500
2	阿部武臣	939	134	146	128	14.3	29.8	47,827,500
3	島津 新	799	118	72	81	14.8	23.8	37,868,000

ホッカイドウ競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	石川 倭	649	113	92	95	17.4	31.6	136,913,000
2	桑村真明	687	107	115	90	15.6	32.3	151,819,000
3	五十嵐冬樹	580	91	72	70	15.7	28.1	83,368,000

岩手競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山本聡哉	633	157	96	84	24.8	40.0	117,601,000
2	高松 亮	766	134	130	100	17.5	34.5	107,659,000
3	山本政聡	715	115	108	95	16.1	31.2	72,269,000

金沢競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	藤田弘治	458	75	78	60	16.4	33.4	52,897,000
2	中島龍也	373	65	63	51	17.4	34.3	41,763,000
3	吉田晃浩	326	60	46	35	18.4	32.5	35,285,000

笠松競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	筒井勇介	572	106	97	73	18.5	35.5	51,305,000
2	渡邊竜也	499	96	88	79	19.2	36.9	45,052,000
3	藤原幹生	505	67	61	62	13.3	25.3	31,401,000

名古屋競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	岡部 誠	600	162	117	83	27.0	46.5	108,839,000
2	丸野勝虎	680	123	74	87	18.1	29.0	70,825,000
3	大畑雅章	746	106	89	77	14.2	26.1	78,760,000

兵庫競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	吉村智洋	996	293	157	117	29.4	45.2	270,636,500
2	下原 理	951	177	162	141	18.6	35.6	246,645,000
3	田中 学	923	140	159	133	15.2	32.4	195,228,000

高知競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	赤岡修次	552	203	104	64	36.8	55.6	146,824,000
2	永森大智	556	100	99	60	18.0	35.8	90,184,000
3	西川敏弘	633	90	101	73	14.2	30.2	96,533,000

佐賀競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山口 勲	548	157	91	71	28.6	45.3	79,867,000
2	石川慎将	675	94	82	96	13.9	26.1	64,540,000
3	倉富隆一郎	563	73	61	49	13.0	23.8	43,659,500

ジョッキーインタビュー

取材・文●小久保友香

若手の台頭がめざましいばんえい競馬で、13年目を迎える長澤幸太騎手も活躍を続ける一人だ。デビューした2009年は65勝を挙げ、日本プロスポーツ大賞新人賞、NARグランプリ優秀新人騎手賞を受賞した。2013年度に51勝、2017年度に66勝とコンスタントに勝ち星を増やし続ける中、2019年度は97勝と一気に数を増やす。今年度はすでに51勝しており（11月20日現在）、9月には通算700勝を達成した。11月1日の北見記念では、2019年のばんえい記念馬センゴクエースに騎乗。障害越えに不安がある難しい馬で4着と好走した。

勝ち星が増えていますか？自分ではそういうイメージはないな。取りこぼした勝利の方が多く、反省点だらけです。センゴクエースは、重賞の方が重量も重く、息が入るペースになる分乗りやすかったからの結果。特別戦だとペースが速くてひざを折る可能性が高くなる。それでも北見記念は第1障害で「これはやばい」ともろさを感じた。うまく表現できないけど、前脚が「ストーン」と落ちるんだ。障害は2回で上るつもりが3回かかってしまった。ただ、平ら（障害以外）での力はすごい。砂さばきが上手ですいすいと行く。調教で固い場所を引っ張った時には感じなくても、砂の深い本走路で上手に走る馬っているんだ。

ばんえいの馬場は、11月からの冬期間は凍結防止のヒーティングを稼働させる。レースを行う上でどのような変化があるのだろうか。

ヒーティングで砂が乾くというよりは、同時にロータリーハローをかけることの方が馬場に影響する。2歳など、今までスピードの切れ味で勝負していた馬が重馬場（時計がかかる馬場）で苦労するんだわ。ヒーティングの温度だけではなく、日中の気温も重要。夜になって冷えてきたら、砂の中の水分が表面に浮いて軽くなるし。だから第1レースから見ていかないと俺たち



写真●ばんえい10勝

2009年のナナカマド賞で重賞初制覇

も馬場状態はわからない。新聞で過去のタイムだけ見ても、時計がかかっていると思ったら、息を入れながら進む展開だったってこともあるから、それだけでは馬の力を判断できないしね。予想している人は難しいと思うよ。

思い出の馬は、2009年のデビュー時に2歳のナナカマド賞で初重賞制覇をプレゼントしてくれたテンマデトドケだという。同馬では、2012年ドリームエイジカップでもカネサブラックやキタノタイショウなどの重賞勝ち馬相手に8番人気で勝利を挙げた。これからの活躍が見込まれていたが、病気のため6歳の若さで命を落とした。

初めてばんえい記念にも挑戦させてくれた。6歳だけど「いつか獲れるから慣れさせるべ」って出走させた（10着）。これから大きいレースをいくつも獲れるから焦ることない、って思っていたところ、腹痛で亡くなってしまった。厩舎のみんなで交代して看病して、引退しても種牡馬になれれば、なんて話をしていたので残念でした。最近はこのといったコンビを組む馬はいないので、騎乗機会をもらった馬について力を尽くすだけです。50勝して減量がなくなったあと、顔を馬に蹴られたほかは大きな怪我はしていないのが幸いです。

出身は道東の酪農と漁業の町、浜中町。近年では周辺地区で生産した出走馬が増え、長澤騎手が騎乗することも多い。

今までは十勝産駒の活躍が多かったけど、道東で生産した馬の質が上がってきたと思う。母馬が良くなってきたかな。血統がずば抜けているというわけではないけど頑張っています。わたしは馬主、生産者だった祖父の影響で子どもの頃から馬にかかわっていました。浜中はそんなに大きな町ではないけど、馬を生産している農家は10数軒はある。種牡馬を持っている人も多いですね。牛もだけど馬の生産は事故も多いから大変だね。実家には5、6頭繁殖牝馬がいるけど、今年は子馬が死んでしまった。能力検査に無事出て、走るだけですごいことです。

所属は服部義幸厩舎。騎手時代の兄弟子で、道東出身の大河原和雄調教師に教わることも多い。

騎手時代から「こうやった方がいいんじゃないか」と丁寧を教えてくれます。しくじったら「……何なのよ、あれ」って（笑）。言われてすぐできるもんじゃないし、やろうと思っても難しい。言われなくなった時がショックですね。乗り方だけではなく、馬を育てる技術があることも素晴らしいで

長澤幸太（ばんえい）

ながさわ こうた



1988年9月19日生まれ おとめ座 B型
北海道出身 服部義幸厩舎
初騎乗／2009年1月10日
地方通算成績／8,970戦709勝
服色／胴黄・赤右たすき、袖赤・青三本輪
重賞勝ち鞍／ばんえいダービー、ドリームエイジカップ（2回）、チャンピオンカップ、ナナカマド賞の5勝

※2020年11月20日終了時点

す。

ばんえい競馬はコロナ禍で2月から無観客開催に。7月からファンの入場を再開し、馬券発売額は過去最高を更新し続けている。この状況の中、騎手会副会長として考えていることはあるのだろうか。

そりゃ、ファンがいた方がモチベーションは上がる。いつも競馬場に来ていた常連の人たちは元気かな、って思っていたよ。2歳馬は初めて見る観客には驚いていたね。自分はファンサービスは積極的に行っている。今は休止中だけど、朝調教ツアーではその時間に合わせて、おとなしい馬を見学の場所へ連れて行くようにしている。馬名を教えれば、その馬のファンになってくれるかもしれないしね。ファンと話をすれば、ばんえいがどう思われているかがわかるから。たてがみの飾りも注目されていて、最近は「付けてください」と送ってくれるファンもいる。飾りが苦手な馬もいるから付けられないこともあるけれど、そこから馬を応援しよう、という気持ちになってくれれば、と思います。協賛レースだって同じだよな。

インタビューではレースの状況をわかりやすく解説し、ファンイベントでは丁寧にばんえいの魅力をアピールする長澤騎手。最近、馬を追う時に足を上げるスタイルが“幸太の舞”といわれ注目を浴びている。

意識してやっています。よく見ると騎手それぞれに個性があるけれど、誇張したほうがいい。もっと目立つのもありかな、と思う。注目されて「なんだこの人」って、そこから競馬ファンになることもあるかもしれない。一人一人騎手の動きは全然違うよ。特にゴール前で馬を追う方法は人それぞれ。注目してみてください。

浅野靖典的

帯広競馬場の歴史

さまざまな困難や課題を
乗り越えてきたばんえい競馬

北海道を旅行すると、この広大な土地を開拓した人々の努力に頭が下がる思いがする。人工的に造られたものがほとんどない場所で、重機はもちろん、自動車も乏しい時代に木を切り倒して根を抜いて、平らな土地を少しずつ作っていく作業。それを想像すると、気が遠くなってしまう。

北海道の夏はスズメバチなどの危険生物が活動し、秋になると冬眠の前にしたクマとの遭遇と背中合わせで、冬は氷点下が続く日々。昔も今も生きていくには厳しい土地であることは変わりがない。

そのなかで人間を助けてくれたのは、数多くの馬。切り倒した木を運んだ馬は、そこにできた大地を耕し、豊かに実った農作物を運んでくれた。北海道の歴史は、馬とともに歩んできたと言ってもいいだろう。そんな時代に馬を使っただけの娯楽が発生したのは、これもまた必然だった。

ばんえい競馬は昭和21年に公布された地方競馬法施行規則で、競走の種類のひと



U字型コースは2つの障害が並ぶ形

つとして指定されている。それを受けて、昭和22年10月に旭川と岩見沢で開催されたが、計4日間の開催での馬券発売額は、平地競馬を下回る結果に終わってしまった。

当時のばんえい競馬はこれぞ草創期というべきもの。騎手の服装はバラバラで、馬具もソリも自前で用意するから、有利不利が明白だった。そういった問題があったために昭和23年は開催されなかったのだが、そこに現れたのがばんえい競馬の愛好家。開拓者の熱き心で金銭的な問題と運営面での課題を乗り越えて、昭和24年の旭川と帯広で、計4日間の開催実現に至った。

それでも赤字にならないかという心配はあったそうだが、この年の開催は前回比で2倍ほどの売上を記録したことで解決。それ以降、開催日数が徐々に増え、昭和49年には102日になった。

もちろん、その間にはさまざまな苦労があったことだろう。スタート当時のばんえい競馬は、現在のような直線でのセパレートコースではなく、U字型でのオープン走路。となると、カーブではインコースに馬が殺到することになる。また、現在と同じ高さ1.6mの最終障害を越える際には「ほかの馬が通過した箇所を、後続馬は通ってはならない」という内規があったとのこと。その状況で運営を続けるのは無理がある話で、その改善のために導入されたのが直線コース。昭和38年の旭川を筆頭に、他の競馬場も切り替えられていった。

ちなみに初期のコースがU字型だった理由は、レース終了後にソリと積載物を運ぶ手間を少なくするため。現在も祭典競馬の香りが残る『草ばんば』の会場には、それが残っている場所がある。

そのひとつが、帯広から北東におよそ60kmのところにある本別町。河川敷にある



北見競馬場跡には現在も厩舎が残る

コースは、スタートして高さ約1mの第1障害を越えるとUターン。続いて2m近くある第2障害を越えて、スタート地点の横に戻る形だ。

運営面を考えると合理的に映るが、その形態で馬券発売を伴う競馬を実施するのは無理があるというのが、U字型コースを見たときの率直な印象だった。本別町のコースは出走可能頭数が最大でも5頭程度と思われるが、公営競馬では幅の広さが必要になる。そうすると公平さを保つのは至難の業。ばんえい競馬が現在の姿になったのは自然なことだったのだ。

道内の4カ所で実施されていたばんえい競馬は、2006年12月以降は帯広だけで行われている。帯広以外で開催されたのは、同年11月27日の北見競馬場が最後。その日に現地に行った私の印象に残っているのは、最終レース後にたくさんの大型トラックが競馬場内に入り、馬とともに家財道具を次々に積み込んでいた様子だった。

大型の冷蔵庫や原付バイク、机や棚、布団が入っていると思われる大きな袋……。これを年に何回もするのは大変な苦勞。帯広市での単独開催になると決まったときには寂しさを感じたが、引っ越しを伴う開催が消滅したのは時代背景を考えれば自然なことだったと、今になれば思える。

青春プレイバック
西弘美 調教師

写真●ばんえい十勝

【騎手時代】1980～2009年、ばんえい競馬で通算22,939戦2,479勝。ばんえい記念(5回)、帯広記念(2回)、ばんえいダービー(2回)、旭王冠賞(3回)など重賞33勝。写真はトモエパワーで制した09年ばんえい記念。

ばんえい記念5勝、2000勝ジョッキーが名トレーナーへ

ばんえい競馬の頂上決戦として定着している『ばんえい記念』。負担重量は牡馬1000kg、牝馬980kg。開催場は1988年から帯広競馬場に固定されている。

その大一番を制するために必要なのは、高い技術と豊富な経験。西弘美騎手は30歳だった1989年に初優勝を遂げ、その後も1997年と98年、2008年と09年で勝利。ばんえい記念での5勝は、2020年現在では藤野俊一騎手と並んでトップとなっている。

現役時代の身長は178cm。「騎手」というカテゴリーでは大柄だ。体形はスリムで動きはしなやか。手足の長さを最大限に活かしたフォームで2479勝を記録した。

その名騎手が調教師試験に合格したのは2009年12月。2007年に長男の西謙一騎手がデビューしたことも、転身の後押しになったのかもしれない。

開業初年度の2010年シーズンは勝ち星が伸びなかったが、翌年度からは急上昇して、2014年度に133勝でリーディングトップを獲得。2020年10月19日に通算1000勝を達成した。

勝ち星を積み上げるスピードはかなりのもの。子供の頃から「馬力大会」と呼ばれる、愛好家たちによるばんえい競馬に参加していたことも、原動力のひとつだろう。

その片鱗を2019年に道南の森町で開催された大会で見ることができた。なんとその場所に、西弘美調教師の姿があったのだ。

さらにはソリの上に立ち、レースに出場しているのだから二度びっくり。1100kgを曳くメインレースにも参加していた。その姿はまさに優勝請負人。ばんえい競馬を愛する職人魂が伝わってきた。

1月→3月 注目レース ばんえい競馬 データ分析

今季重賞路線の見直しが行われた。そのひとつが、明け3歳牡馬の重賞・翔雲賞の新設。牝馬の黒ユリ賞とともに、世代チャ

3/21 ばんえい記念

●人気の実力馬が勝つ

◇1番人気は6勝、2着1回、3着2回で馬券圏外は14年5着キタノタイショウのみ。なお同年は6→8→4番人気で入って、3連単53万4500円はばんえい記念史上最高配当（12年以降）。しかしその他の年は1～3番人気のうち2頭が3着以内に入り、3連単はすべて4桁配当と順当な決着が多い。

◇勝ち馬は7～11歳。16年3着コウシュハウンカイの6歳が3着以内に入った最低年齢だ。初挑戦で勝ったのは14年イン

実施日	レース名(条件)	距離	前年の勝ち馬
1/2(土)	帯広記念(4歳以上)	200m	コウシュハウンカイ
1/3(日)	天馬賞(5歳)	200m	コウシュハレガシー
1/31(日)	翔雲賞(3歳牡)	200m	※新設重賞
2/7(日)	ヒロインズカップ(4歳以上牝)	200m	アフロディーテ
2/14(日)	黒ユリ賞(3歳牝)	200m	エンゼルフクヒメ
2/28(日)	チャンピオンカップ(4歳以上)	200m	アアモンドグンシン
3/13(土)	ポプラ賞(4歳・5歳)	200m	アオノブラック
3/20(祝・土)	イレネー記念(3歳)	200m	コマサンダイヤ
3/21(日)	ばんえい記念(4歳以上)	200m	オレノココロ

ンピオン決定戦・イレネー記念の前哨戦となる。明け5歳は天馬賞、古馬牝馬はヒロインズカップが最高峰レース。そしてシーズン最終日・3月21日に行われる、負担重

量定量1トンのばんえい記念が古馬の頂上決戦となる。ここでは、ばんえい記念、ヒロインズカップの2011年以降、過去10回から傾向を探っていく。

フィニティー、17年オレノココロ、19年センゴクエースで7歳が8歳。その他の勝ち馬は初挑戦時が2～4着で、2度目か3度目の参戦で初優勝している。なおオレノココロは17、18、20年と3勝、ニシキダイジンは12年に、カネサブラックは13年に引退レースとして臨み2勝目を挙げている。

◇チャンピオンカップ組とウィナーズカップ組の対戦という構図。まずチャンピオンカップ5着以内が有力で、15年は、1着キタノタイショウは7着からの参戦だったが3着までを独占。ウィナーズカップは3着以内が目安となる。

◇前走との比較で馬体重が増減しなしか絞れていた馬が3着以内馬30頭中21頭。過去4回で馬券圏内に入った馬はすべてこの条件に当てはまる。

◇11年より前も含め、現役で勝利がある騎手は4名。鈴木恵介の4勝、松田道明の3勝は11年以降と近年好成績。藤野俊一（5勝）、藤本匠（2勝）は10年以前の勝利だが、藤野俊一は過去10回でも2着4回、3着1回（着外・競走中止3回）と活躍。菊池一樹が19年フジダイピクトリーで3着、20年センゴクエースで2着と、それぞれ違う馬で馬券に絡んでいる。

	枠番	馬番	馬名	性齢	重量	騎手	調教師	タイム	人気	体重(前走比)	前走	2走前
20.3.21 帯広 200m 晴・1.4% 7頭	7	7	オレノココロ	牡10	1000	鈴木恵	槻館重	4.16.0	2	1194(-2)	オープン-1組特別①	チャンピオンカップ②
	2	2	センゴクエース	牡8	1000	菊池一	槻館重	4.17.9	3	1215(-9)	オープン-1組特別②	チャンピオンカップ③
	6	6	ホクショウマサル	牡9	1000	阿部武	坂本東	4.26.7	1	1224(-1)	ウィナーズカップ①	ばんえい十勝金杯①
19.3.24 帯広 200m 晴・1.2% 8頭	5	5	センゴクエース	牡7	1000	工藤篤	槻館重	3.35.0	2	1197(-13)	オープン-1組特別①	ウィナーズカップ③
	2	2	オレノココロ	牡9	1000	鈴木恵	槻館重	3.37.4	1	1206(-2)	オープン-1組特別⑤	チャンピオンカップ②
	4	4	フジダイピクトリー	牡11	1000	菊池一	中島敏	3.49.9	3	1097(-2)	オープン-1組特別③	オープン-2組特別①
18.3.25 帯広 200m 晴・0.9% 8頭	6	6	オレノココロ	牡8	1000	鈴木恵	槻館重	3.59.3	1	1187(-21)	オープン-1組特別④	チャンピオンカップ①
	4	4	フジダイピクトリー	牡10	1000	西将太	中島敏	4.01.8	5	1119(0)	オープン-1組特別⑨	ウィナーズカップ⑥
	8	8	コウシュハウンカイ	牡8	1000	藤本匠	松井浩	4.04.1	2	1082(-7)	オープン-1組特別⑧	チャンピオンカップ⑤

2/7 ヒロインズカップ

●レディースカップの結果が結びつく

◇1番人気は3勝、2着2回、3着1回だが、1着は3番人気以内が9頭、2着は4番人気以内が7頭と上位人気が堅実。しかし3着には6～7番人気も入っている。ただし3連単（12年以降）では16年の4万5460円が最高で4桁配当も

3回と大きくは荒れない。

◇5、6歳が3勝ずつ、7歳が2勝と勝つのは比較的若い世代。5、6歳は1着のほかは、3着4回ずつで2着はない。10～11歳の2勝、2着1回は12年以前のものだ。2着は7歳が3頭、8歳が6頭と年齢的な偏りがある。なお8歳は5番人気以内なら必ず3着以内（2着6回、3着1回）に入っている。

◇前哨戦のレディースカップが12月中旬の実施になってからの過去7回で同1～3着馬は、のべ18頭出走し、4勝、2着5回、3着1回。なお過去3回のレディースカップ1、2着馬に限れば、18年にキサラク、アアモンドセブンがワンツーを決めるなど。2勝、2着2回、3着1回（不出走1頭）で複勝率100%の好相性だ。

	枠番	馬番	馬名	性齢	重量	騎手	調教師	タイム	人気	格付	前走	前年のレディースカップの人気・着順
20.2.9 帯広 200m 晴・1.8% 10頭	4	4	アフロディーテ	牝5	760	西謙一	西弘美	2.13.3	2	A2級	A2級-1組⑤	2番人気・2着
	3	3	タナボタチャン	牝7	770	阿部武	坂本東	2.16.5	4	A2級	B1級-1組①	4番人気・7着
	7	8	フェアリースズ	牝6	780	島津新	岩本利	2.17.6	3	A1級	A1級-1組特別①	6番人気・5着
19.2.3 帯広 200m 曇・1.6% 10頭	6	6	タイキン	牝6	770	菊池一	大橋和	2.34.1	5	A2級	A2級-1組②	4番人気・7着
	5	5	キサラク	牝8	790	阿部武	金田勇	2.36.5	1	オープン	オープン-2組混合⑤	3番人気・2着
	2	2	ナカゼンガキタ	牝5	770	藤野俊	西康幸	2.37.1	2	A1級	5歳オープン特別⑦	5番人気・1着
18.1.21 帯広 200m 晴・1.4% 8頭	6	6	キサラク	牝7	790	阿部武	金田勇	2.16.9	1	オープン	オープン-2組特別⑧	1番人気・1着
	1	1	アアモンドセブン	牝7	780	藤本匠	小林長	2.27.9	2	オープン	オープン-2組特別⑦	3番人気・2着
	8	8	セイコークイン	牝8	780	西将太	岡田定	2.33.9	3	オープン	オープン-2組特別⑥	4番人気・8着

帯広競馬場

サイヤーランキング

総合：2018年11月1日～2020年10月31日
世代別：2020年1月1日～2020年11月30日

取得賞金ランキング

勝利数ランキング

■総合(3320レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
ウンカイ	123,807	248	1886	55	オレノココロ
カネサブラック	65,961	267	2127	75	ブラックサファイア
ニシキダイジン	46,710	139	1311	30	メジロゴリキ
ナリタボブサップ	41,197	128	1070	36	メモロボブサップ
カネサデンリユウ	40,780	140	1136	41	キタノコウジロウ
インフィニティー	26,251	111	924	45	ジェイアース
ハマナカキング	22,146	93	738	19	サンシルクラボピー
ケンジュオー	19,418	59	278	8	アオノブラック
シベチャタイガー	16,881	70	484	16	クイーンヴォラ
アローファイター	16,766	70	628	24	ダイリンファイター

■2歳

ミタコトナイ	5,938	21	159	14	ホクセイサクラコ
インフィニティー	5,608	23	207	18	ショウリノホシ
カネサブラック	5,327	20	169	16	アモンドブラック

■3歳

インフィニティー	12,476	53	427	24	ゴールドンペガサス
カネサブラック	10,810	39	342	17	ブラックサファイア
カネサデンリユウ	9,924	27	138	8	カイセドクター

■4歳・5歳

ウンカイ	12,389	38	194	11	コマサンブラック
ニシキダイジン	10,698	25	270	11	コウシュハレガシー
ナリタボブサップ	10,249	20	232	12	メモロボブサップ

■6歳以上

ウンカイ	42,999	50	419	21	オレノココロ
ニシキダイジン	10,940	23	212	9	メジロゴリキ
キングシャープ	6,584	7	41	2	ミノルシャープ

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝利数	活躍馬(勝利数順)
カネサブラック	267	251	2127	75	63	ブラックサファイア
ウンカイ	248	217	1886	55	47	コマサンブラック
カネサデンリユウ	140	119	1136	41	31	サカノダイヤ
ニシキダイジン	139	142	1311	30	24	アフロディーテ
ナリタボブサップ	128	141	1070	36	29	オールラウンダー
インフィニティー	111	91	924	45	37	ジェイアース
ハマナカキング	93	83	738	19	14	サンシルクラボピー
アローファイター	70	56	628	24	21	ダイリンファイター
シベチャタイガー	70	55	484	16	13	キンカライト
ヤマノミント	68	70	496	11	11	ソラチノホシ

インフィニティー	23	17	207	18	16	ショウリノホシ
ミタコトナイ	21	22	159	14	12	ジェイスター
カネサブラック	20	22	169	16	13	アモンドブラック

インフィニティー	53	46	427	24	19	ゴールドンペガサス
カネサブラック	39	40	342	17	14	ブラックサファイア
ナリタボブサップ	28	30	191	9	9	キタノボブサップ

ウンカイ	194	38	31	11	8	コマサンブラック
カネサブラック	385	30	26	21	15	ヒカリファイヤー
ニシキダイジン	270	25	20	11	11	ハゴロモルヴァン

ウンカイ	50	47	419	21	17	サカノメイホウ
ニシキダイジン	23	27	212	9	8	ココロノタカラ
タケノタイトル	21	15	167	7	7	ボンインボウ

重賞勝ち馬の血統を読む

文●高野直樹

銀河賞

メモロボブサップ

2016年4月14日生まれ 牡 鹿毛 ばんえい・坂本東一厩舎
生産・竹澤一彦(河西郡芽室町)

ナリタボブサップ 鹿毛2002	華旭 黒鹿毛1993	平美 第一旭姫
	龍姫 鹿毛1995	スーパージャンディ 共和姫
ピュアレディ 鹿毛2007	アキバオーショウ 栗毛1992	アオヤマトツブ 梅宝
	竹四郎姫 鹿毛2000	テンシヨウリ タツミノルヒメ

ばんえい競馬では平地の競馬には見られない4歳馬限定の重賞が設けられている。2007年からは4歳シーズン三冠(柏林賞、銀河賞、天馬賞)が確立、現在に至っている。9月27日に行われた銀河賞を勝利したのは3歳三冠馬メモロボブサップ。4歳一冠目の柏林賞も制しており、2年連続三冠という偉業達成に王手をかけた。

父はナリタボブサップ(219戦55勝、重賞6勝)。1200kgを越える雄大な馬体、2歳時から常に重賞戦線で活躍し、同い年のカネサブラックらとライバル関係を築いた。2010年のばんえい記念では、1トンのソリを曳きながら第2障害をひと腰で越える離れ業をやったのけた。メモロボブサップは

3世代目の産駒で初めての重賞勝ち馬となった。2代父は華旭(かきょく)。青森県産で競走馬としての出走歴はなく、元々は東北の草ばん馬で活躍をしていた。本州生まれの馬が北海道で種牡馬となるのは非常に珍しいケースであるが、ナリタボブサップの他にもヤマノミント(259戦41勝)等の活躍馬を送り出した。4代父の武潮(ぶちょう)は“怪物”サカノタイソン(73戦50勝、重賞6勝)の父である。

母はピュアレディ(24戦3勝)。血統登録された産駒はメモロボブサップが3頭目。全姉にはシンエイボブ(2017年ばんえいオークス2着)。また、2019、20年産まれの子が血統登録されており、将来のデビューが待たれる。母父はアキバオーショウ。通算成績は195戦46勝で重賞7勝だが、うち6つを旭川コースで挙げ、ついた異名が“旭川の鬼”。金色の長いタテガミがトレードマークでファンの多い馬だった。2代母の竹四郎姫は競走馬としての経歴はないが、半兄にシャトルシンザン(116戦28勝、重賞3勝)がいる血統馬。

改めてメモロボブサップの血統を見てみよう。祖先を遡るとばん馬(日本純系種)を構成する主要3品種(ベルシュロン、ブルトン、ベルジアン)の血がバランス良く



写真●ばんえい十勝

4歳二冠目の銀河賞を制したメモロボブサップ

入っている。父ナリタボブサップ、母父アキバオーショウとともに2歳時から重賞戦線に名前を連ねたが、引退までオープン一番手で活躍を続けていた。メモロボブサップも、今後古馬重賞戦線で長きに渡っての活躍が期待できそうだ。また、近年ばんえい競馬ではウンカイ産駒が古馬戦線を席巻してきたが、メモロボブサップはウンカイの父である大種牡馬マツノコトブキの血を持っていないことも目を引く。ウンカイ産駒の大家馬が相次いで繁殖入りする事を考えると、ウンカイの血から離れた血統構成のメモロボブサップには将来の繁殖馬としての期待もかかる。

ばん馬(農用馬)の生産頭数は減少傾向に歯止めがかからない状況ではあるが、同時に、血統の偏りも懸念材料となっている。ばん馬の生産を持続的に続けるためには血の多様性の維持が不可欠。華旭という異色の経歴を持つ種牡馬からナリタボブサップ→メモロボブサップと続く系譜は、ばん馬の品種改良という観点からも非常に意義深いものといえる。

DIRT GRADE DATA 作戦

第24回 TCK女王盃 JpnⅢ

1月20日(水)

大井1800m
4歳以上牝馬
1着賞金2200万円
フルゲート16頭

20.1.22 大井 1800m 曇・重	8 ⑫ マドラスチェック(JRA)	牝4	55	森 泰斗	1.54.3	5人
	6 ⑦ アンデスクイーン(JRA)	牝6	56	C.ルメール	ハナ	2
	7 ⑨ メモリーコウ(JRA)	牝5	55	古川吉洋	3	3
	単勝⑫1,110円 枠連複(6-8)1,250円 馬連複(7-12)1,620円 枠連単(8-6)3,360円 馬連単(12-7)3,620円 3連複(7-9-12)2,960円 3連単(12-7-9)28,270円					
19.1.23 大井 1800m 晴・良	1 ① ビスカリア(JRA)	牝7	55	森 泰斗	1.53.3	6人
	2 ② マルカンセンサー(大井)	牝4	54	的場文男	5	9
	5 ⑥ ラビットラン(JRA)	牝5	56	M.デムーロ	1 3/4	1
	単勝①2,760円 枠連複(1-2)36,810円 馬連複(1-2)84,220円 枠連単(1-2)122,630円 馬連単(1-2)352,630円 3連複(1-2-6)43,330円 3連単(1-2-6)997,380円					
18.1.24 大井 1800m 晴・不良	7 ⑫ ミッシンググリング(JRA)	牝4	54	戸崎圭太	1.53.9	2人
	8 ⑭ ブランシェクール(JRA)	牝5	54	三浦皇成	2	4
	6 ⑪ ラインハート(大井)	牝7	55	笹川 翼	1 1/2	6
	単勝⑦500円 枠連複(7-8)3,840円 馬連複(12-14)3,680円 枠連単(7-8)5,840円 馬連単(12-14)6,420円 3連複(11-12-14)15,310円 3連単(12-14-11)69,010円					

●最近4年では1番人気が無勝利

2014年から16年にかけては1番人気が無勝利を喫した。しかし、その後の4年間では1番人気は勝てていない。前年のJBCレディスクラシックの3着以内馬が上位人気になるケースが多いが、近年は期待に応えられていない。

最近4年の勝ち馬をみると、17年ワンミリオンは3勝クラスの銀嶺ステークス、18年ミッシンググリングは2勝クラスの平場戦と前走でJRAの条件クラスを勝ったばかりの昇級馬だった。一方、19年ビスカリアは前走3勝クラスの立志ステークス8着、20年マドラスチェックは前走レディスプレリュードで8着に敗れていた。好調馬以外も十分警戒したい。また、地元大井の馬にも要注意だ。

第70回 川崎記念 JpnⅠ

1月27日(水)

川崎2100m
4歳以上
1着賞金6000万円
フルゲート14頭

写真●斎藤修

20.1.29 川崎 2100m 晴・不良	8 ⑫ チュウワウィザード(JRA)	牡5	57	川田将雅	2.14.1	1人
	7 ⑨ ヒカリオーン(川崎)	牡4	56	山崎誠士	6	7
	4 ④ デルマルヴェル(JRA)	牡4	56	O.マーフィー	1	3
	単勝⑫160円 枠連複(7-8)1,150円 馬連複(9-12)1,820円 枠連単(8-7)1,780円 馬連単(12-9)2,350円 3連複(4-9-12)2,800円 3連単(12-9-4)10,890円					
19.1.30 川崎 2100m 晴・良	6 ⑥ ミツバ(JRA)	牡7	57	和田竜二	2.15.0	3人
	2 ② ケイティブレイブ(JRA)	牝6	57	福永祐一	2 1/2	1
	7 ⑧ オールブラッシュ(JRA)	牡7	57	田邊裕信	アタマ	2
	単勝⑥700円 枠連複(2-6)280円 馬連複(2-6)270円 枠連単(6-2)1,410円 馬連単(6-2)1,240円 3連複(2-6-8)220円 3連単(6-2-8)2,960円					
18.1.31 川崎 2100m 晴・稍重	6 ⑥ ケイティブレイブ(JRA)	牡5	57	福永祐一	2.14.9	1人
	7 ⑦ アポロケンタッキー(JRA)	牡6	57	内田博幸	1 1/2	4
	3 ③ アウオーディー(JRA)	牡8	57	武 豊	1	3
	単勝⑥270円 枠連複(6-7)680円 馬連複(6-7)810円 枠連単(6-7)1,170円 馬連単(6-7)1,480円 3連複(3-6-7)1,040円 3連単(6-7-3)4,680円					
17.2.1 川崎 2100m 晴・良	7 ⑨ オールブラッシュ(JRA)	牡5	57	C.ルメール	2.14.6	5人
	8 ⑫ サウンドトゥル(JRA)	牝7	57	大野拓弥	3	1
	4 ④ コスモカナディアン(JRA)	牡4	56	柴田大知	1 1/2	6
	単勝⑨1,820円 枠連複(7-8)1,020円 馬連複(9-12)1,760円 枠連単(7-8)2,510円 馬連単(9-12)4,730円 3連複(4-9-12)9,410円 3連単(9-12-4)70,890円					
16.1.27 川崎 2100m 晴・良	8 ⑫ ホッコータルマエ(JRA)	牡7	57	幸 英明	2.14.1	1人
	1 ① サウンドトゥル(JRA)	牝6	57	大野拓弥	アタマ	2
	2 ② アムールプリエ(JRA)	牝5	55	濱中 俊	4	3
	単勝⑫210円 枠連複(1-8)170円 馬連複(1-12)180円 枠連単(8-1)350円 馬連単(12-1)370円 3連複(1-2-12)340円 3連単(12-1-2)1,160円					

●JRA勢の牙城を崩すのは難しい

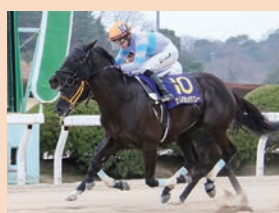
2020年は川崎のヒカリオーンが7番人気で2着に入る好走をみせた。地方馬が3着以内に入ったのは15年3着のサミットストーン(船橋)以来だった。ヒカリオーンは前年に東京ダービーを制し、ジャパンダートダービーでは5着と善戦。サミットストーンは前走東京大賞典で3着と奮闘をみせていた。立派な実績があったとはいえ、このレースで地方馬が上位に入るの簡単ではない。それだけに中距離の交流JpnⅠでJRA勢の牙城を崩すのが難しいと言える。

翌月にフェブラリーステークスが控えているため、マイル前後を得意にしている馬がここに出てくるケースは少ない。1800m以上の距離がベストの馬が回ってくる傾向だ。20年1着のチュウワウィザードは前年にJBCクラシック(浦和)を優勝しており、前走チャンピオンズカップでは4着だった。20年3着デルマルヴェルは前走で2500mの名古屋グランプリを勝利していた。

19年1着ミツバや17年1着オールブラッシュは実績的には格下だったが、金星を挙げた。特にオールブラッシュは重賞未勝利だった。距離適性が高い馬や、連勝中で勢いがある馬が実績上位の馬を食ってしまうこともあるので警戒したい。

第48回 佐賀記念 JpnⅢ

2月11日(祝・木)

佐賀2000m
4歳以上
1着賞金2300万円
フルゲート12頭

写真●佐賀県競馬組合

20.2.11 佐賀 2000m 曇・良	7 ⑩ ナムラカメタロー(JRA)	牡4	55	石川裕紀人	2.06.7	2人
	3 ③ ロードゴラッソ(JRA)	牡5	57	川田将雅	1/2	1
	6 ⑧ ノーヴァレンダ(JRA)	牡4	55	A.シュタルケ	3	5
	単勝⑩320円 枠連複(3-7)290円 馬連複(3-10)330円 馬連単(10-3)670円 3連複(3-8-10)610円 3連単(10-3-8)2,840円					
19.2.11 佐賀 2000m 曇・重	6 ⑦ ヒラボクラターシュ(JRA)	牡4	55	山本聡哉	2.05.7	3人
	2 ② リーゼントロック(JRA)	牡8	56	松岡正海	クビ	5
	1 ① テーオーエナジー(JRA)	牡4	57	岩田康誠	8	1
	単勝⑦560円 枠連複(2-6)5,770円 馬連複(2-7)5,450円 馬連単(7-2)8,200円 3連複(1-2-7)1,000円 3連単(7-2-1)16,740円					
18.2.6 佐賀 2000m 曇・稍重	1 ① ルールソヴァール(JRA)	牝6	56	幸 英明	2.07.8	1人
	5 ⑤ トップディーヴォ(JRA)	牝6	56	横山典弘	4	2
	7 ⑩ マイネルパサラ(JRA)	牡5	58	柴田大知	1 1/4	3
	単勝①280円 枠連複(1-5)370円 馬連複(1-5)400円 馬連単(1-5)730円 3連複(1-5-10)320円 3連単(1-5-10)1,350円					
17.2.7 佐賀 2000m 曇・不良	6 ⑥ ロンドンタウン(JRA)	牡4	55	川田将雅	2.06.7	1人
	2 ② タムロミラクル(JRA)	牡5	56	M.デムーロ	4	2
	7 ⑨ ストロングサウザー(JRA)	牝6	57	田邊裕信	1/2	3
	単勝⑥290円 枠連複(2-6)260円 馬連複(2-6)350円 馬連単(6-2)670円 3連複(2-6-9)450円 3連単(6-2-9)1,900円					
16.2.11 佐賀 2000m 晴・良	8 ⑪ ストロングサウザー(JRA)	牡5	56	田邊裕信	2.08.1	4人
	7 ⑧ マイネルクローブ(JRA)	牡6	57	丹内祐次	2 1/2	3
	3 ③ クリノスターオー(JRA)	牡6	57	幸 英明	クビ	2
	単勝⑧900円 枠連複(7-8)1,660円 馬連複(8-11)2,790円 馬連単(11-8)7,220円 3連複(3-8-11)2,980円 3連単(11-8-3)25,030円					

●6年連続で重賞未勝利馬が制覇

過去5年で3着以内に好走したのはすべてJRA勢だ。人気別の成績は1番人気2勝、2、3着各1回、2番人気1勝、2着2回、3着1回、3番人気1勝、2着1回、3着2回と15頭中12頭に3番人気以内。残る3頭も16年にストロングサウザーが4番人気で勝利するなど、いずれも上位人気が強い。

優勝馬は6年連続でこのレースが重賞初制覇。20年ナムラカメタローは前走府中ステークスから、18年ルールソヴァールは前走ベテルギウスステークスからともに連勝で重賞初制覇。17年ロンドンタウンや16年ストロングサウザー、15年マイネルクローブは前走東海ステークスで7〜8着に敗れていた。また、19年1着ヒラボクラターシュは前走チャンピオンズカップ9着だった。オープン特別を勝ち、勢いで勝利をモノにするのと、JRAの重賞で揉まれた経験を生かすとの違いはあるが新興勢力が台頭しやすい傾向だ。

また、2、3着は重賞常連馬が目立つ。前走チャンピオンズカップ・東京大賞典などGI/JpnⅠや、名古屋グランプリなどGⅡ/JpnⅡで負けていた馬の巻き返しには注意が必要だ。

第67回 エンプレス杯 JpnⅡ

3月4日(木)

川崎2100m
4歳以上牝馬
1着賞金3500万円
フルゲート14頭

20.3.5 川崎 2100m 晴・稍重	5 ⑦ アンデスクイーン(JRA)	牝6	56	C.ルメール	2.16.9	1人
	6 ⑥ ナムラメルシー(大井)	牝6	55	御神本訓史	1 1/2	8
	4 ⑤ バッシングスルー(JRA)	牝4	55	森 泰斗	2	3
	単勝⑦260円 枠連複(5-5)10,090円 馬連複(6-7)12,820円 枠連単(5-5)8,330円 馬連単(7-6)16,640円 3連複(5-6-7)10,770円 3連単(7-6-5)66,490円					
19.2.27 川崎 2100m 曇・良	5 ⑦ プリンシアコメータ(JRA)	牝6	56	岩田康誠	2.15.3	2人
	4 ⑤ ブランシェクール(大井)	牝6	55	吉原寛人	2	8
	6 ⑨ ビスカリア(JRA)	牝7	55	森 泰斗	1 1/2	1
	単勝⑦380円 枠連複(4-5)3,150円 馬連複(5-7)5,690円 枠連単(5-4)4,320円 馬連単(7-5)8,660円 3連複(5-7-9)4,690円 3連単(7-5-9)33,530円					
18.2.28 川崎 2100m 曇・良	1 ① アンジュデジール(JRA)	牝4	54	横山典弘	2.16.3	4人
	6 ⑦ プリンシアコメータ(JRA)	牝5	55	岩田康誠	1 1/2	1
	3 ③ サルサディオオーネ(JRA)	牝4	54	丸山元氣	ハナ	6
	単勝①490円 枠連複(1-6)620円 馬連複(1-7)590円 枠連単(1-6)1,750円 馬連単(1-7)1,700円 3連複(1-3-7)5,580円 3連単(1-7-3)30,930円					

●同年のTCK女王盃出走馬をマーク

過去4年で3着以内に好走したのべ12頭のうち、7頭が同年のTCK女王盃に出走。着順はいい方が好ましいものの、6着以下に敗れていても巻き返しは十分ある。また、地方勢で3着以内に引いた3頭は大井所属で、すべて同年のTCK女王盃に出走。2019年2着ブランシェクールは9着からの巻き返しで、17年リンドランは前走に引き続いての2着。20年に8番人気で2着のナムラメルシーも2走前にTCK女王盃を使われ5着に入っていた。

その他では前走クイーン賞組が有力。19年はプリンシアコメータが前走10着から巻き返した。こちらも好走馬以外にも警戒したい。

第44回 名古屋大賞典

JpnⅢ
3月11日(木)
名古屋1900m
4歳以上
1着賞金2200万円
フルゲート12頭



写真●愛知県競馬組合

20.3.12 名古屋 1900m 晴・重	5⑤ ロードゴラッソ(JRA) 牡5 55 川田将雅 2.02.0 4人	4④ アングライフェン(JRA) 牡8 54 M.テムーロ 1 1/2 2	7⑩ ナムラカメタロー(JRA) 牡4 55 石川裕紀人 1/2 1
19.3.14 名古屋 1900m 晴・稍重	単勝⑤ 410円 枠連複(4-5) 490円 馬連複(4-5) 490円 馬連単(5-4) 1,090円 3連複(4-5-10) 260円 3連単(5-4-10) 1,920円	8⑫ グリム(JRA) 牡4 55 武 豊 2.02.1 1人	2② ヒラボクラターシュ(JRA) 牡4 55 福永祐一 1 1/2 2
18.3.29 名古屋 1900m 晴・良	7⑨ アナザートゥルース(JRA) セ5 54 大野拓弥 2 4	単勝⑫ 190円 枠連複(2-8) 190円 馬連複(2-12) 170円 馬連単(12-2) 350円 3連複(2-9-12) 390円 3連単(12-2-9) 1,060円	5⑤ サンライズア(JRA) 牡4 54 M.テムーロ 2.02.4 1人
17.3.30 名古屋 1900m 晴・良	6⑥ ミツバ(JRA) 牡4 55 松山弘平 1/2 2	4④ キーグラウンド(JRA) 牡4 54 藤岡康太 3/4 6	単勝⑤ 200円 枠連複(5-6) 220円 馬連複(5-6) 290円 馬連単(5-6) 490円 3連複(4-5-6) 2,090円 3連単(5-6-4) 5,080円
16.3.17 名古屋 1900m 晴・良	5⑤ ケイティブレイブ(JRA) 牡4 58 福永祐一 2.02.5 3人	2② ビオネロ(JRA) 牡6 54 戸崎圭太 1 1/2 4	6⑥ カツギキキト(名古屋) 牡4 54 大畑雅章 1/2 6
	単勝⑤ 450円 枠連複(2-5) 990円 馬連複(2-5) 1,030円 馬連単(5-2) 2,100円 3連複(2-5-6) 3,410円 3連単(5-2-6) 14,760円	2② アウオーディー(JRA) 牡6 55 武 豊 2.01.2 1人	7⑩ パンズーム(JRA) 牡5 54 田邊裕信 大差 4
	5⑥ モズライジン(JRA) 牡4 54 中谷雄太 3/4 3	単勝② 140円 枠連複(2-7) 520円 馬連複(2-10) 690円 馬連単(2-10) 960円 3連複(2-6-10) 580円 3連単(2-10-6) 1,880円	

●後のGI/JpnIにもつながりやすい
中距離のJpnⅢという点では2000mの佐賀記念と同じだが、レースの性質は異なる。本競走の方が後のGI/JpnIにつながるやすい傾向だ。過去10年では2017年ケイティブレイブ、16年アウオーディー、13年ホッコータルマエ、12年二ホンピロアワーズらがこのレースを勝利し、後にGI/JpnIを制している。また、11年はエスポワールシチーがGI/JpnI馬の底力をみせてレコードで勝利した。

また、18年1着サンライズアは同年のJBCクラシック(京都)とチャンピオンズカップでともに3着と好走した。その年のメンバー次第にもなるが、ダート中距離で高い能力が求められるレースと言える。20年1着のロードゴラッソもいずれGI/JpnIで活躍しても不思議はないかもしれない。

ステップレースは非常に多様だ。前走佐賀記念で好走している馬がいれば3着以内は手堅いが、毎年都合よく出走してくるわけではない。あとはフェブラリーステークスや東京大賞典出走馬、東海ステークスの善戦馬、JRAのオープン特別好走馬は有力になる。前走3勝クラス(1600万下)勝ち馬も19年アナザートゥルース、18年キーグラウンドが3着に入っている。

第23回 黒船賞

JpnⅢ
3月16日(火)
高知1400m
4歳以上
1着賞金2100万円
フルゲート12頭



写真●高知県競馬組合

20.3.10 高知 1400m 曇・不良	4④ ラプタス(JRA) セ4 56 幸 英明 1.27.3 5人	2② テーオーゼニアス(JRA) 牡5 56 岩田康誠 3 2	5⑤ サクセスエナジー(JRA) 牡6 58 松山弘平 1/2 4
19.3.21 高知 1400m 曇・不良	単勝④ 570円 枠連複(2-4) 1,130円 馬連複(2-4) 1,090円 馬連単(4-2) 2,000円 3連複(2-4-5) 2,040円 3連単(4-2-5) 8,990円	3③ サクセスエナジー(JRA) 牡5 58 松山弘平 1.26.6 1人	1① ヤマニンアンプリメ(JRA) 牝5 54 鮫島良太 アタマ 3
18.3.20 高知 1400m 雨・不良	5⑤ キングズガード(JRA) 牡8 57 藤岡佑介 5 4	1① エイシンヴァラー(兵庫) 牡7 56 下原 理 1.27.2 9人	7⑦ キングズガード(JRA) 牡7 57 藤岡佑介 フビ 1
17.3.14 高知 1400m 晴・重	5⑤ ブルドッグボス(浦和) 牡6 57 岩田康誠 アタマ 2	8⑫ プラズンボリス(JRA) 牡5 56 内田博幸 1.28.2 2人	7⑦ キングズガード(JRA) 牡6 56 藤岡佑介 3/4 3
16.3.15 高知 1400m 晴・不良	5⑥ グレイスフルリープ(JRA) 牡7 57 川田将雅 1 1/2 5	単勝⑫ 460円 枠連複(7-8) 720円 馬連複(9-12) 1,180円 馬連単(12-9) 2,250円 3連複(6-9-12) 3,370円 3連単(12-9-6) 13,830円	5⑥ ダノンレジェンド(JRA) 牡6 58 M.テムーロ 1.27.0 1人
	8⑫ ニシケンモノノフ(JRA) 牡5 56 戸崎圭太 1 2	2② タータルン(JRA) 牡8 56 福永祐一 2 1/2 3	単勝⑥ 180円 枠連複(5-8) 190円 馬連複(6-12) 190円 馬連単(6-12) 330円 3連複(2-6-12) 220円 3連単(6-12-2) 700円

●差し馬よりも先行馬
過去の優勝馬には2002年サウスヴィグラスや、05年マイルセレクト、06年ブルーコンコルドといった一流馬がいる。その後はセイクリムズンが12～14年に3連覇を達成。さらにダノンレジェンドが15、16年と連覇を果たした。第1回が行われた1998年以降(08年、11年は中止)、JRA所属の優勝馬は1～3番人気ばかりだったが、20年に優勝したラプタスは5番人気だった。同馬は前走バレンタインステークスで1番人気・8着と敗れて人気を落としたが、先行力を武器にしていた。基本的にはこのレースは、差し・追込み馬よりも逃げ・先行馬の方が安定したレース運びが期待できるため狙いやすい。

キングズガードは17～19年に2、2、3着と続けて馬券に絡んだが、勝利までは届かなかった。15年に1番人気で5着に敗れたワイドパハも、決め手が武器の馬で東京コースがベストのタイプだった。

地方馬による勝利は18年のエイシンヴァラー(兵庫)と98年のリバーセキトバ(高知)の2頭だけ。ともに9番人気だった。ただし、18年は3着にブルドッグボス(浦和)、15年は3着にタガノジガロ(兵庫)が入っている。

第66回 ダイオライト記念

JpnⅡ
3月17日(水)
船橋2400m
4歳以上
1着賞金3,200万円
フルゲート14頭



写真●斎藤修

20.3.11 船橋 2400m 晴・重	8⑫ アナザートゥルース(JRA) セ6 56 C.ルメール 2.36.6 1人	3③ ウェスターランド(JRA) セ8 56 川田将雅 2 2	5⑤ サウンドトゥルース(船橋) セ10 56 森 泰斗 4 3
19.3.13 船橋 2400m 曇・重	単勝⑫ 240円 枠連複(3-8) 320円 馬連複(3-14) 330円 枠連単(8-3) 660円 馬連単(14-3) 650円 3連複(3-8-14) 410円 3連単(14-3-8) 1,550円	1① チュウウウィザード(JRA) 牡4 55 川田将雅 2.37.3 1人	6⑥ アポロケンタッキー(JRA) 牡7 56 戸崎圭太 4 5
18.3.14 船橋 2400m 晴・稍重	4④ オールブラッシュ(JRA) 牡7 56 田邊裕信 1/2 3	1① ケイティブレイブ(JRA) 牡5 56 福永祐一 2.34.8 1人	2② アポロケンタッキー(JRA) 牡6 56 内田博幸 1 1/2 2
17.3.15 船橋 2400m 曇・重	7⑦ マイネルパサラ(JRA) 牡5 56 柴田大知 2 3	単勝① 180円 枠連複(1-2) 120円 馬連複(1-2) 120円 枠連単(1-2) 210円 馬連単(1-2) 220円 3連複(1-2-7) 140円 3連単(1-2-7) 350円	3③ クリソライト(JRA) 牡7 56 武 豊 2.37.8 1人
16.3.9 船橋 2400m 雨・不良	7⑦ ユーロビート(大井) セ8 56 吉原寛人 6 4	4④ ウマノジョー(大井) 牡4 55 山本聡哉 5 7	単勝③ 160円 枠連複(3-7) 530円 馬連複(3-12) 560円 枠連単(3-7) 640円 馬連単(3-12) 670円 3連複(3-6-12) 4,760円 3連単(3-12-6) 10,950円
	3③ クリソライト(JRA) 牡6 56 武 豊 2.36.4 1人	8⑧ クリノスターオー(JRA) 牡6 56 幸 英明 1 1/2 3	7⑦ ユーロビート(大井) セ7 56 吉原寛人 5 5
	単勝③ 130円 枠連複(3-8) 370円 馬連複(3-11) 370円 枠連単(3-8) 440円 馬連単(3-11) 490円 3連複(3-10-11) 1,280円 3連単(3-11-10) 3,290円		

●上位人気強く平穏な傾向
2020年は勝ったのがアナザートゥルースで、セン馬が3着までを独占するめずらしい結果となった。ただ、人気通りの堅い決着でもあった。18年も1着ケイティブレイブ以下、同じように人気順で入線している。現在、1番人気で4連勝でもあり、非常に穏やかな傾向だ。フェブラリーステークスや川崎記念といったGI/JpnIからの参戦組が強い。18年ケイティブレイブは前走フェブラリーステークスで11着に敗れていた。負けていた馬でも自然と巻き返してくる。

前走GⅡ/JpnⅡからの参戦組では東海ステークスや浦和記念の連対馬が勝利(19年チュウウィザード、17年クリソライト)を飾っている。前走GⅢ/JpnⅢからの参戦組では佐賀記念の上位馬が有力。2～3着に食い込む余地はありそう。

地方勢にも十分チャンスがある。元JRA所属で20年3着サウンドトゥルース(船橋)だけでなく、ユーロビート(大井)は、16年は5番人気で3着、17年は4番人気で2着と2年連続で好走。17年3着には7番人気のウマノジョー(大井)が入った。2400m以上の重賞で好走実績がある馬は軽視できない。

LOTO 高額配当ランキング

2020年9月1日～2020年11月30日

[五重勝単勝式]

第1位	3,195,320円(2口)	9/8 佐賀
第2位	2,434,810円(3口)	11/2 帯広
第3位	2,085,300円(1口)	10/4 帯広
第4位	1,791,510円(1口)	9/2 園田
第5位	1,596,940円(6口)	11/16 帯広

第6位 1,526,910円(1口) 9/11 笠松

第7位 1,236,060円(4口) 9/27 盛岡

[七重勝単勝式]

第1位	9,850,360円(2口)	10/24 佐賀
第2位	2,843,990円(2口)	10/26 帯広
第3位	1,595,930円(1口)	9/13 帯広

読者プレゼント

①オッズパーク特製ボールペン…10名様
提供：オッズ・パーク株式会社

ご希望の方は官製はがきに、①ご希望のプレゼント名、②住所・氏名、③年齢、④本誌に対するご意見・感想、⑤Odds Parkを利用してお感想、⑥Odds Parkへのご意見・要望を明記の上、下記まで、締切は1月20日(水)の消印有効。当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。なお、個人情報については景品の発送以外の目的では使用いたしません。
〒901-0298 沖縄県豊見城市豊崎 オッズパークサポートセンター OPCプレゼント係

開催日程

☆☆ ナイター開催時の投票開始時間 ☆☆☆
 兵庫(園田)、高知 …………… ナイター開催当日10:00 ~
 ばんえい帯広、ホッカイドウ、佐賀、南関東 …… ナイター開催当日12:00 ~

DG ダートグレード開催日 重賞 重賞開催日
 ●: デイ開催 ●: 薄暮取扱 ●: ナイター取扱

1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
ばんえい 帯 広		重賞	重賞	●	●	●				●	●	●				●	●	●					●	●	●					●	重賞	ばん えい	
ホッカイドウ 門 別																																ホッカ イドウ	
岩 手 盛岡／水沢		水沢	水沢						水沢	水沢	水沢																					岩手	
		重賞	●						●	●	重賞																						
金 沢																																金沢	
笠 松						●	重賞	●				●							●	●	重賞	●										笠松	
名 古 屋	重賞	●	●	重賞									●	重賞	●			●									重賞	●	●	●			名古屋
兵 庫 園田／姫路		園田	園田			園田	園田						姫路	姫路	姫路				姫路	姫路	姫路					姫路	姫路	姫路				兵庫	
		●	重賞			●	●						●	重賞	●				●	●	●					●	●	重賞					
高 知	●								●	●	●	●					重賞		●	●				●		●	●				●	重賞	高知
佐 賀			●		●					●	重賞					●	●						●	●		●				●	●	佐賀	
南関DG																				大井 DG							川崎 DG					南関東	

2月	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日	
ばんえい 帯 広	●					●	重賞	●					●	重賞	●					●	●	●					●	重賞	ばんえい
ホッカイドウ 門 別																													ホッカイドウ
岩 手 盛岡／水沢																													岩 手
金 沢																													金 沢
笠 松	●	●	●	重賞	●										●	●	●	●	●										笠 松
名 古 屋								●	●	重賞	●	●										●	●	重賞	●	●			名古屋
兵 庫 園田／姫路		姫路	姫路	姫路					姫路	姫路	姫路					姫路	姫路	姫路					姫路	姫路	姫路				兵 庫
	●	●	●						●	●	●					●	●	●					●	●	重賞				
高 知		●	●				●		●	●				重賞		●	●				●		●	●				●	高 知
佐 賀						●	●				DG		●	●						●	●				重賞		●	重賞	佐 賀
南関DG																													南関東

3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
ばんえい 帯 広	●					●	●	●				●	重賞	●					●	●	重賞	重賞										ばんえい
ホッカイドウ 門 別																																ホッカ イドウ
岩 手 盛岡/水沢																				水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢			岩手
金 沢																●	●	●				●		●				●		●		金沢
笠 松	●	●	●	●	●											●	●	●	●													笠松
名 古 屋									●	●	DG	●											●	●	●	●						名古屋
兵 庫 園田/姫路	●	●	●	●				●	●	●	●					●	●	●					●	●	●				●	●		兵庫
高 知	●	●				●		●	●				●		DG	●					●	重賞	●	●				●	●			高知
佐 賀					●	●	●					●	重賞							●	●	●					●	●				佐賀
南関東DG				川崎 DG													船橋 DG															南関東

※日程は変更となる場合がございますのでご注意ください。
 ※南関東地区で行われるダートグレード競走については、市中銀行会員のみの投票できます。
 ※ホッカイドウ競馬については、市中銀行会員・ジャパンネット銀行会員のみの投票できます。

重賞&ダートグレード日程(2021年1月~3月)

1月	競馬場	実施日	競走名	競走条件	距離	備考
	名古屋	1(祝・金)	第23回 新春ペガサスカップ	重賞 3歳	1,600	
	帯広	2(土)	第43回 帯広記念	重賞 4歳以上	200	
	水沢	2(土)	第46回 金杯	重賞 3歳	1,600	
	帯広	3(日)	第14回 天馬賞	重賞 5歳	200	
	園田	3(日)	第63回 新春賞	重賞 4歳以上	1,870	
	名古屋	4(月)	第24回 名古屋記念	重賞 4歳以上	1,400	
	笠松	7(木)	第26回 白銀争覇	重賞 4歳以上	1,400	北陸・東海・近畿地区交流
	水沢	11(祝・月)	第20回 トウケイニセイ記念	重賞 4歳以上	1,600	
	佐賀	11(祝・月)	第62回 花吹雪賞	重賞 3歳牝馬	1,800	四国・九州地区交流
	名古屋	14(木)	第26回 マイル争覇	重賞 4歳以上	1,600	北陸・東海・近畿地区交流
	姫路	14(木)	第22回 兵庫クイーンセレクト	重賞 3歳牝馬	1,400	北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	高知	17(日)	第10回 大高坂賞	重賞 4歳以上	1,400	
	大井	20(水)	第24回 TCK女王盃JpnⅢ	DG 4歳以上牝馬	1,800	中央・地方全国交流
	笠松	21(木)	第45回 ゴールドジュニア	重賞 3歳牡馬・牝馬	1,600	北陸・東海・近畿地区交流
	名古屋	26(火)	第8回 梅桜賞	重賞 3歳牝馬	1,800	北陸・東海・近畿地区交流
	川崎	27(水)	第70回 川崎記念JpnI	DG 4歳以上	2,100	中央・地方全国交流
	姫路	28(木)	第50回 白鷺賞	重賞 4歳以上	2,000	北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	帯広	31(日)	第1回 翔雲賞	重賞 3歳牡馬	200	
	高知	31(日)	第18回 黒潮スプリンターズカップ	重賞 4歳以上	1,300	地方全国交流
2月	笠松	4(木)	第38回 ウインター争覇	重賞 4歳以上	1,800	
	帯広	7(日)	第31回 ヒロインズカップ	重賞 4歳以上牝馬	200	
	名古屋	10(水)	第22回 梅見月杯	重賞 4歳以上	1,900	地方全国交流
	佐賀	11(祝・木)	第48回 佐賀記念JpnⅢ	DG 4歳以上	2,000	中央・地方全国交流
	帯広	14(日)	第46回 黒ウリ賞	重賞 3歳牝馬	200	
	高知	14(日)	第8回 だるま夕日賞	重賞 4歳以上	1,600	
	名古屋	24(水)	第46回 スプリングカップ	重賞 3歳	1,800	地方全国交流
	姫路	25(木)	第5回 兵庫ウインターカップ	重賞 4歳以上	1,400	地方全国交流
	佐賀	25(木)	第25回 たんぽぽ賞(予定)	重賞 3歳九州産	1,400	中央1勝クラス・地方全国交流
	帯広	28(日)	第42回 チャンピオンカップ	重賞 4歳以上、重賞競走優勝馬	200	
	佐賀	28(日)	第3回 ウインターチャンピオン	重賞 3歳以上	1,400	
3月	川崎	4(木)	第67回 エンプレス杯JpnⅡ	DG 4歳以上牝馬	2,100	中央・地方全国交流
	姫路	4(木)	第13回 兵庫ユースカップ	重賞 3歳	1,400	北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	佐賀	7(日)	第17回 飛燕賞	重賞 3歳	1,400	
	名古屋	9(火)	第5回 中京ペガスターカップ	重賞 3歳	1,600	
	名古屋	11(木)	第44回 名古屋大賞典JpnⅢ	DG 4歳以上	1,900	中央・地方全国交流
	帯広	13(土)	第42回 ポプラ賞	重賞 4歳・5歳	200	
	佐賀	14(日)	第18回 はがくれ大賞典	重賞 3歳以上	2,000	地方全国交流
	高知	16(火)	第23回 黒船賞JpnⅢ	DG 4歳以上	1,400	中央・地方全国交流
	船橋	17(水)	第66回 ダイオライト記念JpnⅡ	DG 4歳以上	2,400	中央・地方全国交流
	笠松	18(木)	第42回 マーチカップ	重賞 4歳以上	1,900	
	帯広	20(祝・土)	第52回 イレネー記念	重賞 3歳	200	
	帯広	21(日)	第53回 ばんえい記念	重賞 4歳以上	200	
	高知	21(日)	第9回 土佐春花賞	重賞 3歳	1,300	
	名古屋	23(火)	第19回 若草賞	重賞 3歳牝馬	1,400	地方全国交流
	高知	28(日)	第9回 御厨人鹿賞	重賞 4歳以上	1,400	

※開催内容が変更となる場合がございますのでご注意ください。

ばんえい記念 BGI

帯広競馬場 4歳以上 2021年 3月21日(日) 200m

昨年度優勝馬：オレノココロ

騎手：鈴木恵介

重量1トン!
最強鞍馬決定戦!

● オッズパークで投票できる勝馬投票券

すべてのレースに投票できます(ホッカイドウ競馬については、市中銀行会員・ジャパンネット銀行会員のみ投票できます)

競馬場	場番号	最大出走頭数	単勝(単)	複勝(複)	連勝複式			連勝単式		三連勝		重勝式			投票方式				レース実況
					枠番 枠	馬番		枠番 枠	馬番 単	三連復	三連単	セレクト5	セレクト7	ランダム7	電話投票ARS	インターネット投票			
						普通 (馬場)	拡大 (ワイド)									オッズパーク 投票	クラシック 投票	携帯アプリ 投票	
		賭式番号	1	2	3	4	7	5	6	8	9								
ばんえい帯広	03	10	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●			●	●	●	0180-991-073(帯広市)
ホッカイドウ門別	06	16	●	●	●	●	●		●	●	●					●	●	●	0180-991-234(札幌市)
盛岡	11	15		●	●	●	●	●		●	●	●	●			●	●	●	0180-991-335(盛岡開催)(盛岡市)
水沢	12	12														●	●	●	0180-991-336(水沢開催)(奥州市)
金沢	41	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●	●	●	0180-997-553(金沢市) 076-257-7711
笠松	42	10	●	●	●	●	●		●	●	●	●				●	●	●	0180-995-001(笠松町)
名古屋	43	12	●	●	●	●	●		●	●	●					●	●	●	0180-995-711(名古屋市)
園田	51	12		●	●	●	●	●		●	●	●	●			●	●	●	0180-996-200(園田開催)(尼崎市)
姫路	52	12															●	●	0180-997-200(姫路開催)(姫路市)
高知	55	12	●	●	●	●	●		●	●	●					●	●	●	0180-998-991(高知市)
佐賀	61	12	●	●	●	●	●		●	●	●	●		●		●	●	●	0180-999-211(鳥栖市)

※販売賭式は変更になる場合がございます。 ※重勝式は、インターネット投票(クラシック投票は除く)のみ投票できます。

ダートグレード競走のみ投票することができます(市中銀行会員のみ投票できます)

浦和	31	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-993-400 (東京03エリア)
船橋	32	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
大井	33	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
川崎	34	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

オッズパーク
サポートセンター

電話 0570-006889 (ナビダイヤル) / 03-6837-4500 FAX 098-851-0988

受付時間 10:00~21:00(ナイター非開催日は17:30まで) ※施設点検日およびメンテナンス日は休業

インターネット投票

パソコン
<http://www.oddspark.com/>

携帯
<http://m.oddspark.com/>

スマートフォン
<https://sp.oddspark.com/>

電話投票

0570-011100(ナビダイヤル)
03-6833-0111

※投票はどちらの投票用電話番号でもご利用になれます。

レース結果案内(全主催者共通)

0570-011555(ナビダイヤル)
03-6748-0100
03-6748-0101

※番号をよくご確認のうえ、お間違のないようお願いいたします。

※「0180」「0570」で始まる電話番号は、一部の携帯電話・PHSからはご利用になれません。また、NTT以外の電話会社と契約されている場合はご利用いただけない場合がございます。

※「0180」で始まる電話番号は(固定電話)音源所在地までの一般ダイヤル通話料(携帯電話)全国一律14秒10円(3分130円)がかかりますのでご注意ください。

※ナビダイヤル(「0570」で始まる電話番号)の通常電話からの通話料金は、全国一律で一般電話からは1分10円、携帯電話からは20秒10円です。